2026
8
VOL.03
TAKE FREE

西鎌倉モビリティ通信

NISHIKAMAKURA MOBILITY NEWSLETTER
西鎌倉を移動しやすいまちへ

より使いやすい公共ライドシェアへ

高齢者らの移動手段の課題に対応するため、タクシー不足を補うべく鎌倉市が西鎌倉地区で実施する公共ライドシェアについて、さまざまな動きが出ている。７月１７日に腰越行政センターで行われた「ふれあい地域懇談会」では終了後、木下雅幸・地区町内自治会連合会長が、行政と連携を確認する「７・４西鎌倉地区モビリティ宣言」を松尾崇市長に手渡した。

懇談会では担当幹部が公共ライドシェアに関して「早急に地域ニーズを調査したい」と答え、商店などと連携した需要喚起策は「非常に重要」との認識を示した。独自の移動手段構築に向けて「支援を検討したい」とし、関係機関との調整や補助金獲得支援などを挙げた。松尾氏は市を挙げた地域活性化について「地域の皆さんの取り組みは当然、しっかりと一緒に取り組んでいく」と力強く述べた。

市長との懇談会で意見交わす



鎌倉市の松尾崇市長（左）に「７・４西鎌倉地区モビリティ宣言」を手渡す木下雅幸・西鎌倉連合会長＝７月１７日、腰越行政センター

７・４西鎌倉地区モビリティ宣言

1. 移動ニーズについて誰一人取り残さないよう地域の意思を示し、行政と協力する
2. 「移動のタネ」（商店など）を生かし、需要を創出して地域活性化と同時に進める
3. 既存の交通機関を生かしつつ新たな移動手段を構築する

（一部編集）

シニア向け勉強会始まる



公共ライドシェアについての説明に耳を傾けるシニア向け勉強会の参加者ら（手前）＝７月２２日、鎌倉山集会所

一方、連合会モビリティ委員会は７月２２日、公共ライドシェアについて理解を深めるシニア向け勉強会第１弾を鎌倉山集会所で開いた。集まった約30人から「地域貢献のためドライバーになりたい」「タクシーの形態より安くて使いやすいバスの形態が必要」などと意見や質問が活発に交わされた。今後、他の場所でも勉強会を開く。

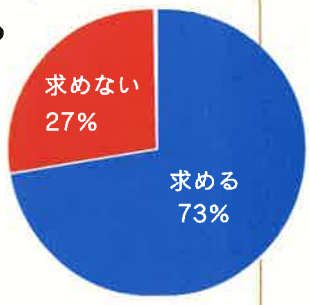
西鎌倉地区の移動に関する声を集めてます！
移動ニーズ投稿ボード

みんなの声も見られます

DATA

「乗り合い型」７割求める

西鎌倉住民で平日日中に地域にいる「非通勤・通学者」のうち、乗り合い型の公共ライドシェア導入を求めるか聞いたところ、「求める」が73％を占めた。個人乗車型では「求める」が65％だった。



※2025年11月、西鎌倉地区対象、アンケート回答総数1432件

今後の主なスケジュール

8月21日(金) 午前10時～	シニア向け勉強会 第２弾	手広東公会堂
9月17日(木) 午前10時～	シニア向け勉強会 第３弾	未定
10月17日(土) 午後２時～	第２回地域交通 シンポジウム	西鎌 みんなの家
11月23日(祝)	つながりフェスタ	西鎌倉小学校

※変更する可能性もあります

発行：西鎌倉地区町内・自治会連合会
地域の個性豊かな９つの自治会・町内会からなる住民主体の課題解決型地域団体
モビリティ委員会
公式サイト

nishikamakura.union@gmail.com

NEXT NISHIKAMA
移動しやすいまちを目指す西鎌倉の動きを毎月伝えていきます。
次回は９月初旬発行予定